

在シドニー総領事通信
第 69 回 シドニーでの終戦記念日

令和 4 年（2022 年）8 月 19 日



マーティンプレイスの戦没者慰霊碑での献花（2022 年 8 月 15 日）

シドニーでは、市内中心部のマーティンプレイスに 1929 年に設置された戦没者慰霊碑（Cenotaph）で、戦争関連の主要式典が開催されます。コロナ規制が緩和されたので、着任後初めて、豪州退役軍人会（RSL）NSW 州支部主催の第二次世界大戦終戦記念日の式典に参列しました。

今回の総領事通信では、この式典についてご報告するとともに、シドニーで終戦記念日を迎えることの意義について、皆さんと一緒に考えたいと思います。



ビーズリーNSW 州総督の式辞（2022 年 8 月 15 日、NSW 州総督 Facebook）

●マーティンプレイスでの式典

コロナ規制が厳しかった一昨年と昨年は、終戦記念日の式典の出席者は領事団長など極めて限定されていたので、私は式典終了後に静かに献花を行っていました。

本年の式典は、NSW 州総督夫妻、退役軍人大臣と影の大臣、陸海空軍・退役軍人団体等代表、第二次大戦の退役軍人に加え、領事団からも広く参加があり、私も領事団長代行（スイス）、米・英・仏・独・加・NZ・フィリピン・PNG など各国総領事とともに参列、献花することができました。

ビーズリーNSW 州総督は式辞の中で、第二次大戦中の様々な戦闘を振り返るのみならず、戦後の和解についても取り上げ、日本の総領事がこの式典に参列していることにも言及がありました。そして、誰もが知っているように、戦争に勝利者はいないと述べました。

当地で「太平洋戦勝記念日（Victory in the Pacific Day）」と呼ばれるこの日の式典に日本が招かれ、豪州はじめ各国とともに戦争の惨禍を振り返り、未来の平和に向けての誓いを新たにすることの意義を改めて感じました。



全国戦没者追悼式で式辞を述べる岸田総理（2022年8月15日、首相官邸HP）

●全国戦没者追悼式

日本では、毎年終戦記念日に、日本政府主催の「戦没者追悼式」が東京の日本武道館で開催されます。オンラインでも生中継されるので、シドニーから傍聴し、黙祷しました。

岸田総理は、戦没者の皆様に祈りと敬意と感謝の念を捧げるとともに、[以下のとおり](#)戦後を振り返り、未来に向けての決意を表明しました。

「戦後、我が国は、一貫して、平和国家として、その歩を進めてまいりました。歴史の教訓を深く胸に刻み、世界の平和と繁栄に力を尽くしてまいりました。

戦争の惨禍を二度と繰り返さない。この決然たる誓いをこれからも貫いてまいります。未だ争いが絶えることのない世界にあって、我が国は、積極的平和主義の旗の下、国際社会と力を合わせながら、世界が直面する様々な課題の解決に、全力で取り組んでまいります。今を生きる世代、明日を生きる世代のために、この国の未来を切り拓（ひら）いてまいります。」

この総理の決意を、当地でも実行に移していきたいと思えます。



ビーズリーNSW 州総督への離任表敬（2022 年 8 月 17 日）

●ビーズリーNSW 州総督への離任表敬

2 日後の 8 月 17 日、私は来月下旬予定の離任に先立って、NSW 州総督府でビーズリー総督への離任表敬を行いました。

この機会に、一昨日の式辞での私への言及をはじめ、これまでの総督の日本に対する様々な配慮に対して謝意を伝達しました。2019 年 10 月に着任表敬を行った際、翌年の戦後 75 周年にカウラを訪問するアイディアが話題に上り、コロナのため[オンライン訪問となりましたが実現](#)いただきました。

総督御夫妻には昨年 2 月の[天皇誕生日夕食会](#)、本年 3 月の[天皇誕生日レセプション](#)にも出席いただいた他、昨年 12 月の [Japanaroo Festive Seasons Concert](#) にも山上駐豪日本国大使とともに出席し、冒頭挨拶いただきました。NSW 州政府のみならず総督自身が日本を重視していることを示すものと受けとめています。

エネルギー移行など経済面での協力や姉妹都市・学校交流の発展、そして先月のペロテーNSW 州首相の初外遊としての訪日についてもご説明し、この 3 年間の日・NSW 州関係の大きな進展を改めて感じました。



戦没者慰霊碑に献花した花輪（2022年8月15日）

●歴史の記憶を振り返り、未来を創ること

戦争は、遠い過去の話ではありません。今も、ウクライナをはじめ世界各地で戦争が進行しており、この東アジアでも緊張が高まっています。

77年前の終戦、80年前のダーウィン空爆やシドニー湾攻撃の歴史の記憶を日豪がともに振り返り、その犠牲に哀悼の誠を捧げることは、無念にも亡くなられた方々の思いを生かすべく、日豪協力を一層推進するためにも重要です。ここシドニーでの終戦記念日の機会に、日豪がともに未来を創るために最大限努力する決意を新たにしました。

今回の総領事通信を通じて、この思いを皆さんにお伝えし、共有することができて嬉しく思います。当地での任期は残り約1か月となりましたが、様々な場で引き続きご一緒できれば幸いです。

在シドニー日本国総領事 紀谷昌彦